

大学在学中にNHK連続テレビ小説でヒロイン役を務め、その後数え切れないほどの役を演じてきた紺野美沙子さん。文才にも長け著書も多数、エッセイのドラマ化や文学賞受賞という輝かしい経歴も。現在は朗読座を主宰し、美しい言葉の世界を日本全国に発信している。美しく聡明…なだけでなく、ユーモア溢れる紺野さんにお話を伺った。

横浜に暮らして40年

横浜に暮らしてかれこれ40年になります。もともと東京の狛江市に住んでいましたが、祖母の友人が住む横浜市郊外の丘陵地帯で緑が多く素敵なおとろけと家族で引っ越しました。私が大学生の時です。住み始めた当初は狸に遭遇したこともありましたがね。結婚し、子育てもこの街でしました。近くに大きな公園があってのんびりしていて、晴れた日には富士山も見えます。

今年のお正月は「かながわ県民割」を使って姉妹の家族とみなとみらいに泊まりました。ホテルから望む夜景は素晴らしく、目の前に観覧車が見えて親戚の子も大喜び。ロープウェイ「YOKOHAMA AIR CABIN」にも並んで乗りました。歳を重ねると、新しいことを体験する機会が少なくなるので、最新の乗り物に乗ってみようと思って。近未来のようでとても素敵でした。地元泊まってみるのもいいですね。

膨らむ想像の世界「朗読座」

10年ほど前、たまプラーザテラスができた時に、ホールで何かやってみませんかとお声をかけていただいて。日本語の美しさと言葉の持つ力をお伝えしたいという想いから「朗読座」の活動を始めました。音楽や影絵、映像など、アートと朗読を組み合わせたパフォーマンスです。皆さまに心穏やかなひとときをお届けしたい、レストランというフルコースではなくて気軽に美味しいものが食べられるビストロのような感覚で楽しんでいただけたら。演劇ほど長い時間ではなく、でも非日常を味わって、一緒に行ったお友達と「今日は楽しかったね」とランチでもして。今では全国各地で公演しています。地方を訪ね、私自身もその土地の美味し

いお酒や旬の食べ物は何かしらと楽しみながらやらせていただいています。

子ども向けの演目もあれば、コロナ禍でお休みしていますが客席の皆さまと発声や群読をする参加型の演目もあります。盲学校の学生さんがたくさん来てくださったこともありました。心が動く瞬間を積み重ねることが豊かな人生をつくれます。耳で聴いて想像の世界を膨らませ、私が表現したことで一人でも多くの方の心を動かすことができたら嬉しいです。

国連の親善大使として

国連開発計画（UNDP）親善大使の活動に携わってもう24年になります。アジア・アフリカの途上国を視察し、自分の見たこと、感じたことを日本の皆さまにお伝えする活動です。

訪問先では「百聞は一見に如かずとはまさにこのこと」と驚くことの連続です。タンザニアの奥地に行った時のこと、そこには電気もガスもなく、診療所はあるのですが名ばかりで、医者もいません。お母さんが何キロも歩いて赤ちゃんを連れてきたのですが、結局はちょっとした薬を処方されて帰るだけ。そういった途上国の貧困地域では医療体制が整っていないので、あとはもう祈るしかない。また子どもを助けたいと、病院に行くために高利貸から借金をして貧困が進んでしまうというお話も伺いました。

テレビのお仕事の中でも、クイズ番組は緊張してしまうので特に苦手だったのですが、15年ほど前、テレビでメッセージを発信できるという想いから出演したこともあり、「賞金を獲得したら東ティモールに木を植えるために寄付します」と。その時はよもやの賞金を本当にいただき、東ティモールに寄付をすることができました。



俳優・朗読座主宰
紺野 美沙子さん
Konno Misako

1980年、慶応義塾大学在学中にNHK連続テレビ小説「虹を織る」のヒロイン役で人気を博す。「武田信玄」「あすか」など多数のドラマに出演。舞台では「細雪」(原作:谷崎潤一郎)「忠臣蔵」(日本の面影)(作:山田太一)「両国花錦闘士」(原作:岡野玲子)など、硬軟を問わず意欲的に取り組んでいる。バラエティ番組にも度々出演。長年の大相撲ファンとしても知られている。1998年、国連開発計画親善大使の任命を受け、国際協力の分野でも活動中。2010年秋から「紺野美沙子の朗読座」を主宰。NHKエフエム「音楽遊覧飛行」案内役を担当している。

演じる魅力

小学生の時に演劇クラブに所属していて、桜木町の青少年ホールが私の初舞台でした。演じる楽しさを知り、この時「将来はお芝居をする人になりたい」と思ったことを今でもはっきり覚えています。8年前、再びこのホールの舞台に立つ機会を得て、あらためてその時の気持ちがよみがえりました。その気持ちをいつも忘れないでいようと胸に刻んでいます。

演じるという仕事の魅力は、いろいろな時代のいろいろな人生を疑似体験できること。そして皆でつくり上げていく楽しさや達成感、ワンチームという感覚。好きだからこそこの仕事を長く続けてこられたのだと思

います。

ご存じの方も多いと思いますが、私は「元祖スー女」と言われた大の相撲好き。同居していた祖母と子どものころからテレビで相撲観戦を楽しんでいました。相撲独特の伝統文化や、武器を持たずに体一つでぶつかり合う迫力がたまらなく好きです。なんと昨年、『両国花錦闘士』という相撲をテーマにした舞台に出演させていただきました。お相撲さん役の若い役者さんたちに囲まれて、とても幸せな数カ月でした。

夫は「家に女優さんがいるってどんな感じ?」と聞かれると「うちに女優はいない」と答えているそう(笑)。どんな職業の方も家に帰れば「普通の人」ですよ。



初心者対象 手結びのきもの着付教室

通常全 8 回 12,000 円 (1 回 1,500 円 × 8 回) → 受講料 0 円

◆カリキュラム◆

ゆかたの着方と半幅帯、普段着の着方、名古屋帯のお太鼓結び、フォーマルの着方、袋帯の二重太鼓結び(全て手結びで行います)
※着物、長襦袢、帯の貸し出し有り(全8回3,500円)

◆開講要項◆

期間/週1回の2ヶ月 (応募者には開講日の1週間前に受講券を送付)
定員/各時間5名
受講料/無料 ※但し教材費として期間中6,900円(税込)必要

教室	3月生		4月生		時間	会場
	コース	開講日	コース	開講日		
横浜	金曜	3/11	水曜	4/13	A・B・C	横浜駅西口 歩4分
銀座	水曜	3/16	木曜	4/14	A・B・C	有楽町駅銀座口 歩5分
新宿	火曜	3/15	金曜	4/15	A・B・C	新宿駅西口 歩5分
池袋	月曜	3/7	木曜	4/14	A・B・C	池袋駅西口 歩4分

A(10:30~12:00)/B(14:00~15:30)/C(19:00~20:30)

彩きもの学院
お申し込みは「ヨコハマよみうり」係へ

https://www.saikimonogakuin.co.jp/

☎ 0120-073005